

# 令和6年度 八王子市立川口小学校 学校経営計画

校長 石川 真一

<b>学校教育目標</b> ○よく考える子(基礎・基本の定着から主体的、対話的、深い学びへ) <b>ビジョン</b> <b>心の教育を土台に「夢をかなえる学校」を創る</b> <b>1.目指す学校</b> ○基礎・基本の定着を図り、学びに向かう力を高める。 <b>2.目指す児童像</b> ○主体的に学び考えを伝え合う子 ○あきらめず理解できるまで取り組む子 ○キャリア教育の充実を図り将来の夢やあこがれをもつ子			○思いやりのある子(自尊他尊の精神、自主自律・相互理解の推進へ) ○心の教育の充実を図り保護者・地域から信頼される。 ○「生命の尊さ」を核とした心の教育の充実を図る。 ○互いを尊重し合い、やさしい言葉で伝え合う子 ○「いじめない力」を高め、互いを尊重する子 ○人との出会いを大切にし人とかかわり、地域を大切にす子	○健康な子(体力・健康の保持増進、安全安心な生活様式へ) ○健康に関心をもち心と体を大切にす。 ○自分の健康に関心をもち規則正しく生活する子 ○きまりを守り、身の回りを整える子 ○感染対策を意識し、体力と抵抗力を増やし ○危険を予測し、安全に行動する子
---	--	--	---	---

**3.本校の現状と課題**  
 ・主体的に学ぶことや基礎・基本の定着を図ることに課題がある。何を学んだのか振り返り、低学年から学習したことを積み上げることに課題がある。  
 ・言葉遣いや伝え方やSNSでトラブルになり、分かり合うことに課題がある。 やさしい言葉で伝え合い、互いを尊重する心情を養う。

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	評価
学習指導	・学習用端末も活用し、基礎・基本の定着を図る。 ・自分の考えをもち表現力を高める。	・学習規律を身に付け、導入を工夫し児童が主体的に学ぶ授業を実施する。 ・思考する時間や振り返りの時間を確保し、考えを伝え合う。	・「話をしっかり聞くこと」から取り組み、学習規律を身に付け学習する雰囲気をつくる。 ・授業の導入を工夫し「学びたい・知りたい・調べたい」と思える授業を積み上げる。問題意識をもたせ、個で思考する時間を確保し、伝え合う機会を設定し深い学びを目指す。 ・ドリルやミラシードを活用し、個に応じて繰り返し取り組ませ定着を図る。 ・自分の考えをもち伝え合うことができるようペアや小集団を活用して自分の考えを伝え自信をもたせ、タブレット端末をすすんで活用し、基礎・基本の定着を図ったり探究する力を高めたりする。 ・必要感のある課題を設定し、主体的に学び対話や発表を通して理解を深い納得感を得る。	・一年生から「話をしっかり聞くこと」が身に付き、学力向上の土台を築くことができた。学習規律を身に付け、自分の考えをもち、友達に伝える児童が多くなった。はちおうしっ子ミニマムでは、正答率が上がり、学習することの自信が付いた。自分から学ぶ児童も増えた。 ・めあてを達成しようとする姿が見られた。また、ミラシードを活用し、基礎・基本の定着が少くずつ図れた。校内研究では「自分の考えをもち、伝え合える児童の育成」を目指し、発問を工夫し必要感を感じながら自分の思いを発表しようとする児童が増えた。
心の教育(重点)	・特別活動の充実を図り、自己肯定感・自己有用感を育成する。 ・「いじめない力」を育成し、互いを尊重する心情を養う。	・学校行事や話し合い活動等を通して、協力しながら自分らしさを発揮する。 ・内容項目に迫る、特別の教科道徳の授業を積み重ね、いじめ対策委員会で共通理解を図り、組織的に対応する。	・学校行事やたわり班活動など、最上学年が見通しをもって生き生きと活動し、達成感が味わえるように取り組ませ全職員で価値をつけていく。 ・話し合い活動では、互いの考えを尊重し「意思決定力」「合意形成力」を高め行動できるようにする。 ・クラブや委員会活動は、自主的に運営し前年度の取組を参考に、創意ある取り組みを行う。 ・内容項目に迫る、特別の教科道徳の授業を積み重ね「心」を養い、学んだことを行動に移すことができるようにする。互いの生命を尊重し「いじめない力」を育成するため、朝会や道徳・学級指導等で指導し、いじめの未然防止に取り組む。ふれあい月間だけでなく、毎月ハッピータイムアンケートを実施し、いじめの早期発見に努める。「いじめ対応の時間」では、全職員で共通理解を図り、組織的に対応する。	・全校朝会では「心」に関連する話を行い、心の教育の充実の具現化を図れるよう取り組んだ。「いじめない力」を意識させ、いじめやトラブルの未然防止に取り組んだ。アンケートを毎月実施し情報共有を行ったので早期対応をすることができた。 ・「いじめない力」を育成し、互いを尊重する心情を養う。
体力向上指導	・体育的活動を活用し、体力づくり運動の強化や能力の向上を図る。 ・感染症や熱中症の予防を意識し、心身ともに健康に成長しようとする意識を育む。	・体力・健康の保持増進ため季節に応じた教育活動を充実する。 ・感染症や熱中症にならないよう、自分で行動できるようにする。	・体育の授業では、協力したり根気強く取り組んだりする気持ちを育成し体力や技能を高める。また、水泳の学習は、民間施設を使うため熱中症や安全面に配慮して実施する。体力・運動能力調査結果を踏まえ、長縄跳び・持久走を全校で取り組み運動する楽しさや達成感を味わわせる。 ・手洗いやうがい等、すすんで感染対策を行い、自分だけでなく友達にも気を配って行動する。また、熱中症にかからないようWBGTも活用し、子供たちが安心して学校生活が過ごせる環境を整える。健康の大切さを学び、気さ正しい生活習慣を身に付けられるよう家庭とも連携を図る。	・感染症だけでなく熱中症にならないよう暑さ指数を活用し、運動量や水分補給を考えながら教育活動を実施した。持久走や長縄を計画的に取り組む体力や技能を高め、運動の楽しさを味わわせ達成感も感じる児童が増えた。 ・Home&Schoolを活用し、欠席確認や検温等、保護者の協力体制をもっと早期に周知し、感染拡大を防ぐことができた。 ・保健指導も定期的に行い、心と体について考えることができた。
保護の者連携地域	・保護者・地域の協力を得ながら、開かれた学校づくりを目指す。 ・地域に根ざした学校をつくるため、保護者・地域と連携した学連協の協力体制を構築する。	・安全で安心な学校生活が送れるよう、協力体制を構築する。 ・心の教育の意識化を図り、保護者・地域と共に取り組んでいく。	・学校公開や学校行事等を通して、学校や学級の様子を保護者・地域の方々を知っていただき理解が得られるよう取り組む。交通事故や情報事故に遭わないよう保護者・地域の協力体制を構築し安心して学べる環境を整えていく。放課後子供教室を週に6日実施し、児童の居場所、遊び場、学習の場を確保する。 ・心の教育の充実を図るため「いじめ防止」や「言葉遣いやあいさつ」など、保護者会や学校だより等で発信し、協力体制を構築する。学校運営協議会では、学校の状況や学校行事の実施について協議していただき、学校の応援団としての役割を果たし教育活動が充実するよう取り組んでいく。	・学校公開では、70%以上の保護者が授業を参観し、教育活動に関心をもって教育活動を充実させることができた。保護者の協力体制が構築されてきたと感じた。放課後子供教室「川子」では、宿題ができるよう学習アドバイザーも配置したので、宿題や課題に取り組むようになった。 ・学校運営協議会の組織や計画を見直し、協力体制を構築した。防災課やはらまる分ポイント等と連携し、今年度も3町会合同避難所訓練を実施することができた。地域の人材を教育活動に活用し充実を図ることもできた。
進路指導等	・児童・生徒の交流を図り、教員相互も連携し、児童の円滑な接続を図る。 ・小中一貫教育の充実を図る。 ・地域人材を活用したキャリア教育を推進する。	・児童・生徒の交流を図り、教員相互も連携し、児童の円滑な接続を図る。 ・小中一貫教育の方針を踏まえ、川口中学校グループ6校と連携し、教員同士の情報交換も行いながら中学校への円滑な接続を図る。年3回の小中一貫教育の日だけでなく、かわわりが深められるよう交流し、「合同・一体化」のキーワードの具現化を目指す。 ・地域の人材を活用し、キャリア教育や環境教育を行う。	・川口中学校グループで連携を図り、分科会で話し合ったことを実践できるよう取り組むことができた。さらに、実践したことを共有したので円滑な接続を図ることができた。小中一貫教育を計画的に実施し、9年間で育てたい力について各分科会で検討し、来年度に活かしていく。 ・今年度も地域の方々の協力を得て「私の職業 プロから学ぶ」を実施し、将来の職業について考え夢をかなえようとする気持ちを育てることができた。キャリアパスポートを全学年でしっかり取り組み将来について考えたり自己肯定感を高めたりすることができた。	・川口中学校グループで連携を図り、分科会で話し合ったことを実践できるよう取り組むことができた。さらに、実践したことを共有したので円滑な接続を図ることができた。小中一貫教育を計画的に実施し、9年間で育てたい力について各分科会で検討し、来年度に活かしていく。 ・今年度も地域の方々の協力を得て「私の職業 プロから学ぶ」を実施し、将来の職業について考え夢をかなえようとする気持ちを育てることができた。キャリアパスポートを全学年でしっかり取り組み将来について考えたり自己肯定感を高めたりすることができた。